

地域活性化人材育成事業～SPARC～

ひとや地域(まち・文化・教育)のwell beingに貢献する
文系DX人材の育成シンポジウム

地域発DX

～人材とDXで山口から新たな価値の創出を～

令和7年 7月15日 火

会場

KDDI維新ホール 大ホール

(〒754-0041 山口市小郡令和一丁目1番1号)
JR新山口駅下車、北口から直結

対象

DX人材育成、DXの取り組みに関心のある
企業・自治体・教育機関等の方

社会人を対象としたDXのリカレント教育
(学び直し)に関心のある方

大学関係者、大学生

プログラム(予定)

13:00 開会挨拶

[第1部]

13:20～13:40 SPARC事業(文系DX人材育成と
地域活性化の取り組み)の紹介

パネルディスカッション

13:40～14:30 大学によるDXのリカレント教育

14:40～15:30 課題解決型学習(PBL)を
通した大学と地域との連携

[第2部]

15:40～16:40 クロストーク

テーマ1 DXのリカレント教育

テーマ2 DXを織り込んだ
課題解決型学習(PBL)

16:40 閉会挨拶

16:50～17:50 情報交換会

お問い合わせ先

山口大学総務企画部地域連携課

電話: 083-933-5630 メール: sh085@yamaguchi-u.ac.jp

お申込み



オンライン
同時配信

<https://forms.gle/5J8t2qrsYtqCfoS36>

開催趣旨

過疎化や働き手不足といった課題に直面する地域社会。その再生と発展を目指す上で、成長戦略を立案・実行し、ゆたかな社会創りを推進する人材の育成が求められています。

こうした人材はデジタルの特性を理解した上で、それを課題解決に活用する幅広い知識と教養を有し、組織業務の効率化や生産性向上はもとより、新しい製品やサービスの提供に向けた変革を推進するなど、DXの旗振り役となることが望まれます。

山口大学、山口県立大学、山口学芸大学ではこの人材を「文系DX人材」と位置づけ、地域企業や自治体等と連携して育成する教育プログラムを構築しています。(文部科学省「地域活性化人材育成事業」令和4年度採択)

本シンポジウムでは、「地域」をキーワードに、人材とDXの融合から生まれる新たな価値の可能性を探るとともに、参加者の皆様との対話を通じて、地域が求めるDXのあり方を共に考えます。

プログラム(予定)

第1部

13:00

主催者挨拶

山口大学、山口県立大学、山口学芸大学の代表者による挨拶
国立大学法人山口大学長 谷澤 幸生

来賓挨拶

13:20~13:40

地域活性化人材育成事業 (文系DX人材育成と地域活性化の取り組み)の紹介

山口大学副学長(総務企画・DX・情報セキュリティ・大学評価担当) 松野 浩嗣

パネルディスカッション

13:40~14:30

大学によるDXのリカレント教育…………… 50分

山口大学が開講している技術経営(MOT)講座、データサイエンス技術マスター講座などのリカレント教育プログラムを受講した皆様の経験談に基づき、社会人として山口の地で学び直しをすることの動機や意義、受講前後でのご自身の変化、受講に関しての工夫(仕事との両立や、学び続けるためのモチベーションの維持)などについてお話いただきます。
また、地域活性化に向けたDXのリカレント教育への期待について意見交換します。

パネラー

紺野 哲成 様(株式会社フォーリウム・取締役)
樋口 信介 様(武田薬品工業株式会社・グローバルワクチンビジネスユニット)
浮田 秀樹 様(有限会社鹿野ファーム・ハイパーハム工房)

モデレーター

湯浅 修一 准教授(山口大学・DX人材育成推進室 副室長)

14:40~15:30

課題解決型学習(PBL)を通した大学と地域との連携…………… 50分

地域の企業や行政等と連携して実施しているPBL授業「DXによる課題解決」をAI・ドローン・データサイエンス・実証実験・サービスデザイン等の観点から深化・進化させ、今年度は、約20チーム、100名を超える学生たちが受講しています。
その中から3つの事例を取り上げ、DXを推進している企業から何に取り組み、どのような成果を上げ、さらにどのような未来を描いているかをお話いただき、学生との取り組みへの期待と課題について意見交換します。

パネラー

佐鹿 健治 様(大村印刷株式会社・ODI事業部 副部長)
長屋 方文 様(タムラエンパイロ株式会社・環境事業部)
福田 将大 様(東京海上日動火災保険株式会社・山口中央支社)

モデレーター

吉村 耕一 教授(山口県立大学・副学長(研究・地域連携担当))

15:40~16:40

クロストーク

テーマ1 DXのリカレント教育

テーマ2 DXを織り込んだ課題解決型学習(PBL)

テーマ毎に設けたトークコーナーにご来場いただいた皆様に対して、大学の担当教員より、現在検討中のDXのリカレント教育のカリキュラム、DXを織り込んだ課題解決型学習(PBL)の進め方等をご紹介しますとともに、皆様からのご要望、ご意見などをお聞かせいただきます。

16:40

閉会挨拶

公立大学法人山口県立大学長 田中 マキ子



第2部(オンライン配信なし)